



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.47)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成28年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	35台	3,173台
コンデンサ類	2,099台	44,746台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京PCB処理事業部会を開催しました



東京PCB処理事業部会

10月5日、平成28年度第2回東京PCB処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として「平成28年度上期の東京PCB処理事業所操業状況について」をご報告させていただきました。

年度当初のトラブルにより、全体の処理に遅れが生じましたが徐々に挽回していることを確認いただきました。

議題2として、環境省よりPCB早期処理に向けて施行された「平成28年改正PCB特別措置法の概要」をご説明いただきました。

その他の議題として、ストックホルム条約で新しく規制対象となりましたポリ塩化ナフタレン含有品の大阪PCB処理事業所での試験結果を報告しました。この物質は新たに規制されるものですが、東京事業エリア内の登録機器には含まれておりません。

今後も各委員からのご指導をいただき、事業終了に向けて安全確実な処理を進めていきます。

なお、前号(NO.46)に記載の平成28年度第1回東京PCB処理事業部会の開催日が7月1日となっていました。7月5日の間違いでした。訂正いたします。

東京スーパーエコタウン協議会事業 「ビーチクリーンアップ in 城南島2016」に参加しました

10月16日、当事業所が加入する東京スーパーエコタウン協議会(※)事業の一環として、城南島海浜公園の清掃活動に参加しました。この活動は、城南島海浜公園ビーチクリーンアップ実行委員会が主催する活動で、大田区城南地区の企業、東京スーパーエコタウン協議会の企業が参加して毎年行われております。当日は天候にも恵まれて家族連れも含め多数の参加者により、砂浜に打ち上げられた木・缶・ペットボトルなどが回収され、活動後はきれいな砂浜に甦りました。当事業所は東京スーパーエコタウン協議会の一員として今後も引き続き各種地域活動に積極的に取り組んで参ります。

(※) 東京スーパーエコタウン協議会…スーパーエコタウン内の9事業者が相互に協力連携し、事業効率の向上を図ることを目的に設置



ビーチクリーンアップ活動

◎ スーパーエコタウン事業とは (※東京スーパーエコタウンHPから抜粋)

東京都は、首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において、都有地を活用した廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めてきました。これまでに、中央防波堤内側地区には、PCB廃棄物処理施設及びガス化溶融等発電施設が稼働し、また城南島地区には、建設混合廃棄物リサイクル施設、廃情報機器類等リサイクル施設、食品廃棄物リサイクル施設及びがれき類・泥土リサイクル施設が稼働しました。都は、都内処理率の向上と最終処分量の削減を推進し、廃棄物問題の解決を促進するため、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めます。

救命講習会を開催しました

9月27日、臨港消防署救急係の方を講師にお招きして、JESCO社員および運転会社社員の計18名を対象に救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫をはじめ人工呼吸およびAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法について人形を用いた実地訓練を行い、また、気道異物除去法や応急手当についての講義を聴講しました。

緊急事態に遭遇した場合を想定した訓練を通じて、救急・救命の重要性を再認識するとともに、的確な応急対応の知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。



救命講習会

上半期(4月 - 9月) 施設見学状況

上半期の見学には、保管事業者、官公庁等、45団体合計401名の方々にお越しいただきました。

	4月 - 6月	7月 - 9月	上半期計
団体数	22団体	23団体	45団体
見学者数	185名	216名	401名



情報公開ルームモニター見学

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



情報公開ルームの展示物①



情報公開ルームの展示物②

環境報告書2016を発行しました

平成27年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取り組みをまとめた『環境報告書2016』を9月に発行しました。

この報告書は、当社の環境と安全に対する取り組みを積極的にお知らせするために、毎年発行しているものです。また、環境保全に加えて、PCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、PCB廃棄物処理事業検討委員会等の取り組みについても記載しています。発行に当たっては、第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

『環境報告書2016』は、当社のHPにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
 〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)
 TEL03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.48)

平成29年 2社合同年頭挨拶

新年初日の1月4日、平成29年の無事故・無災害操業を祈念して、PCB廃棄物処理に携わるJESCOと運転委託会社の東京環境オペレーション(株) (TEO) による2社合同年頭挨拶を行いました。

JESCO東京PCB処理事業所・田中所長からは、JESCO社長の年頭挨拶を代読した後、当事業所における①PCB廃棄物の処理期限について②変圧器・コンデンサー等の廃棄物処理計画について③それらを踏まえた平成29年の取り組みについての訓示がありました。

TEO・本田所長からは、安全・安定操業の堅持と作業環境の向上を図って無事故・無災害に向け取り組んでいく、との決意表明がなされました。



2社合同年頭挨拶

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました



環境安全委員会

昨年10月28日、江東区東陽町にて第36回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(委員長：中杉修身 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)が開催されました。

議題1として、平成28年度上半期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、作業従事者の労働安全衛生、ヒヤリハット活動及び教育・訓練の実施状況等について報告しました。

議題2として、東京事業所の今後の長期処理計画について説明しました。一都三県内の対象物の状況及び処理終了までの計画を発表しました。

議題3として、新たに設置する水熱分解設備のスラリー供給配管の内容について報告しました。

議題4として、昨年度35回の委員会で報告しました安全操業を目指して行った意識アンケート調査での結果を受けて行った各種教育等について、報告しました。

議題5として、環境省より昨年改正されましたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法の一部を改正する法律の概要についてご報告いただきました。現在使用中の機器等に関して規制を設けるようになったことをご報告いただきました。

その他の報告として、ストックホルム条約(*)においてポリ塩化ナフタレンが新たに規制物質として加わりましたが、他事業所で行った当該物質を含有するトランスの処理に問題がなかったこと、また、東京事業所エリア内の登録機器には当該含有物質が含まれていないことを報告しました。

会議では、今後の処理に関して気を付けるべきことや資料をより分かりやすくすべきことなどのご要望・ご意見をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。

(※) ストックホルム条約

環境中での残留性が高いPCB、DDT、ダイオキシン類等のPOPs (Persistent Organic Pollutants、残留性有機汚染物質) については、一部の国々の取組みのみでは地球環境汚染の防止には不十分であり、国際的に協調して廃絶、削減等を行う必要があることから、2001年(平成13年)5月、スウェーデンのストックホルムにおいて「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」が採択された。日本は平成14年に締結している。

総合防災訓練を実施しました

昨年11月29日、総合防災訓練を実施いたしました。

訓練は、震度5弱 120ガルの大規模地震を想定したもので①地震防災の基本②人命保護最優先③災害の未然防止と被害拡大防止等の行動を目指して、近隣企業と合同で避難訓練および建屋倒壊による高所負傷者救出訓練等を行いました。また、公設消防の指導のもと自衛防災組織の指示命令系統が迅速かつ的確に働いていることや、被害拡大防止・消火活動等について確認いただきました。

訓練終了後、参加いただいた臨港消防署および視察いただいた東京都環境局と江東区の幹部の方から、訓練内容に関してお褒めの言葉をいただきました。

今後も訓練を重ねて、更なるレベルアップを図ってまいります。



高所負傷者救出訓練



現地指揮本部



消火訓練

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成28年10月～12月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	10月～12月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	324台	3,497台
コンデンサ類	1,969台	46,715台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

PCB収集運搬事業者安全協議会総会・連絡会を開催しました

昨年11月2日、当事業所が入門許可しているPCB収集運搬業者で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会」(会長会社：株式会社ジェイアール東日本物流)の第9回総会が開催されました。

当日はPCB収集運搬業者31社48名が参加されました。

総会では報告事項として、新規加入/退会会員について、緊急連絡体制関係書類の改定について報告がありました。



総会終了後、同収集運搬業者と東京PCB処理事業所との間で「PCB廃棄物収集運搬業者連絡会」を開催し、下記事項を報告して情報共有を図りました。

- (1) 収集運搬不適合事例の報告と改善対策について
- (2) 処理手間物について
- (3) 収集運搬予定連絡表の記載・送付について

特に(1)では、一昨年11月に発生した不適合事例報告および緊急時支援のお願い等を報告いたしました。

今回、過去事例の内容を共有し、また安全への注意喚起によって、安全意識を高めることができました。

PCB運搬事業者安全協議会総会・連絡会

第3四半期（10月 - 12月）施設見学状況

昨年10月から12月までの間に、保管事業者、官公庁等、22団体合計254名の方々にお越しいただきました。

	10月	11月	12月	計
団体数	9団体	8団体	5団体	22団体
見学者数	99名	115名	40名	254名



スーパーエコタウン見学



一般見学

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）

Tel.03-3599-6023

<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>